

分科会開催報告書

報告日 令和 4年 5月 14日 (土)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第一学習 参勤交代 (松平春嶽) ⑧ 昨夢記事 三
開催日時 令和 4年 5月 12日 (木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 8名 女 3名 合計 11名 欠席者 2名	
<p>最初に講師より参勤交代制度の変遷と嘉永六年より安政期の政治状況の説明があった。</p> <p>愚衷 (= 愚案) 安政二年 (1855) 10月中旬 松平春嶽から徳川斉昭 (海防参与) 宛 ○現在の事態は「必戦」を期し「必死」を覚悟し嚴重な防備体制の構築が必要なのに 「因循偷安の風習」のままなのは、指導者が口では「必戦」唱えても心では「必戦の覚悟」がなく「不 決断」の故であり、「国家困弊」に陥っている。 ○対外方針も天保時に異国船打払令を廃止し「薪水給与令」に切り替えたため必戦の覚悟が 出来ない。 ○夷国とは和親条約を締結しているので安心せよとの指示であるが、全権会議で締結した条約は 信用できないものだ。夷国は東京湾測量を要求しており、拒否すれば何が起こるか予測できない。 ○今必要なのは必戦の実を示し、大小諸侯を必戦の方向への仕向けることであり、 その体制準備をすることだ。以下に体制構築の具体策を示す。 ○大小諸藩疲弊救助の為に諸献上物の省略、諸有司への贈進或いは両山の火防及び門番等も免除。</p>	
次回予定 令和 4年 5月 26日 (木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：第二学習 吉宗と尾張藩主宗春の角逐②	